



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月9日

上場会社名 株式会社 技研製作所
コード番号 6289 URL <https://www.giken.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森部 慎之助

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 前田 みか

TEL 088-846-2933

四半期報告書提出予定日 2021年4月14日

配当支払開始予定日

2021年5月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	13,293	△8.1	2,169	△12.9	2,220	△12.3	1,446	△14.3
2020年8月期第2四半期	14,471	2.1	2,491	△22.4	2,532	△22.2	1,688	△26.1

(注)包括利益 2021年8月期第2四半期 1,559百万円 (△5.4%) 2020年8月期第2四半期 1,648百万円 (△20.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	52.85	52.53
2020年8月期第2四半期	61.88	61.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	50,069	39,110	76.2
2020年8月期	49,708	38,411	75.5

(参考)自己資本 2021年8月期第2四半期 38,159百万円 2020年8月期 37,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2021年8月期	—	35.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,200	10.4	3,850	54.1	3,900	39.7	2,700	92.7	98.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年8月期2Q	28,077,728 株	2020年8月期	28,058,028 株
2021年8月期2Q	692,963 株	2020年8月期	692,915 株
2021年8月期2Q	27,371,430 株	2020年8月期2Q	27,290,076 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、国内の公共投資は堅調に推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の終息時期が依然として不透明な中、民間投資は減少しており、このような状況を背景に、顧客の設備投資に対する姿勢は慎重な傾向が続いております。

国内における工法普及活動では、自然災害からの復旧・復興事業や、将来に備える防災・減災、国土強靱化施策を中心に、高速道路リニューアルなどの道路延伸・改良事業や、岸壁を大水深化する港湾整備事業などにおいてインプラント工法の適用範囲の拡大に取り組み、工法採用は順調に増加しました。また、近年多発する大規模水害の原因である河川堤防の決壊についても、堤防の本質は国民の命と財産を守ることであり、絶対に壊れてはいけない「責任構造物」でなければならないことを国民に強く訴えかけ、関係省庁にも粘り強いインプラントロック堤防の提案を行い、抜本的な対策の実現に向けた取り組みを推進しています。

海外展開では、圧入原理の優位性を最大限に発揮し、建設の五大原則を高次元に遵守する工法提案を進めるなど、グローバルエンジニアリング企業を目指して活動を強化しました。大型プロジェクトについては、オランダ・アムステルダム市の運河護岸改修では、2022年からの実証施工に向け、護岸構造の詳細設計と機械開発を進めています。また、ブラジルの鉱滓ダムの安全性を確保する提案も継続しており、これらに加え、オーストラリア、タイでも大型案件に対して具体的な工法提案を進めています。

地下開発事業では、東京都葛飾区のJR新小岩駅東南地区での大規模民間開発の区域でエコサイクル2基が採用され、区営の駐輪場として2022年の夏頃のオープンを予定し整備が進んでいます。これを含めると、エコサイクルの設置は全国で24か所(59基)となります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、13,293百万円(前年同四半期比8.1%減)、営業利益は2,169百万円(同12.9%減)、経常利益は2,220百万円(同12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,446百万円(同14.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設機械事業

国内の公共土木工事において本設工事に用いる杭材が、600mm幅U形鋼矢板から900mm幅ハット形鋼矢板へと移行しつつあり、その杭材に適合したサイレントパイラーF301-900の販売が好調であったことにより、売上高は9,188百万円(前年同四半期比4.4%増)、セグメント利益は2,489百万円(同5.5%減)となりました。

②圧入工事業

インプラント工法は、緊急性や重要性の高い災害復旧工事や防災・減災工事を中心に、海岸堤防や河川護岸、岸壁の改良や橋脚の耐震補強、道路の延伸・改良などに採用されており、その工事は順調に推移しましたが、前年同四半期と比較すると、大型工事が減少したため、売上高は4,104百万円(前年同四半期比27.6%減)、セグメント利益は675百万円(同32.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ360百万円増加して、50,069百万円となりました。これは、製品等の流動資産の減少175百万円に対し、建物及び構築物等の固定資産の増加536百万円の差引合計によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ338百万円減少して、10,959百万円となりました。これは、電子記録債務等の流動負債において197百万円、長期借入金等の固定負債において140百万円の減少があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ699百万円増加して、39,110百万円となりました。これは、利益剰余金等の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

圧入工事の効率化による原価の低減、コロナ禍におけるテレワークの定着化および「GIKENのニューノーマル」として5つのレス「ペーパーレス・通勤レス・出張レス・オフィスレス・社宅（転勤）レス」の強力な推進によるコスト削減効果を見込み、通期の連結業績予想につきましては、売上高を27,200百万円、営業利益を3,850百万円、経常利益を3,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を2,700百万円に修正することといたしました。

2021年8月期通期連結業績予想値（2020年9月1日～2021年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	27,100	3,150	3,200	2,100	76 74
今回修正予想（B）	27,200	3,850	3,900	2,700	98 64
増減額（B－A）	100	700	700	600	－
増減率（％）	0.4%	22.2%	21.9%	28.6%	－
前期実績	24,640	2,498	2,792	1,400	51 28

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,882	8,146
受取手形及び売掛金	5,272	5,481
電子記録債権	1,693	1,659
製品	5,247	4,167
仕掛品	1,895	2,119
未成工事支出金	26	34
原材料及び貯蔵品	3,753	3,502
その他	711	194
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	25,477	25,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,056	6,709
機械装置及び運搬具	13,560	13,800
土地	9,563	9,662
建設仮勘定	1,151	953
その他	1,324	1,394
減価償却累計額	△11,905	△12,530
有形固定資産合計	19,749	19,990
無形固定資産	352	315
投資その他の資産		
投資有価証券	1,238	1,272
繰延税金資産	1,799	1,860
その他	1,107	1,345
貸倒引当金	△14	△15
投資その他の資産合計	4,129	4,462
固定資産合計	24,231	24,768
資産合計	49,708	50,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333	1,654
電子記録債務	2,429	1,017
短期借入金	870	625
未払法人税等	392	774
前受金	2,802	3,350
賞与引当金	562	383
その他の引当金	8	16
その他	1,095	1,473
流動負債合計	9,493	9,296
固定負債		
長期借入金	707	629
製品機能維持引当金	34	17
退職給付に係る負債	80	68
その他の引当金	0	0
その他	980	945
固定負債合計	1,803	1,663
負債合計	11,297	10,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,843	8,860
資本剰余金	10,020	10,037
利益剰余金	19,439	19,927
自己株式	△304	△304
株主資本合計	37,999	38,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△95	△72
繰延ヘッジ損益	5	△1
為替換算調整勘定	△352	△282
退職給付に係る調整累計額	△5	△4
その他の包括利益累計額合計	△447	△360
新株予約権	503	567
非支配株主持分	355	382
純資産合計	38,411	39,110
負債純資産合計	49,708	50,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	14,471	13,293
売上原価	8,687	7,995
売上総利益	5,784	5,297
販売費及び一般管理費	3,293	3,127
営業利益	2,491	2,169
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	10	7
不動産賃貸料	21	16
保険解約返戻金	—	9
その他	15	25
営業外収益合計	51	59
営業外費用		
支払利息	4	5
不動産賃貸費用	0	0
株式交付費	2	1
その他	3	0
営業外費用合計	10	8
経常利益	2,532	2,220
特別損失		
固定資産廃棄損	—	21
特別損失合計	—	21
税金等調整前四半期純利益	2,532	2,199
法人税等	875	750
四半期純利益	1,656	1,448
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△32	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,688	1,446

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	1,656	1,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	23
繰延ヘッジ損益	△4	△11
為替換算調整勘定	1	99
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△7	110
四半期包括利益	1,648	1,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,679	1,533
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

・会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設機械事業	圧入工事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,803	5,668	14,471	—	14,471
セグメント間の内部 売上高または振替高	939	104	1,044	△1,044	—
計	9,743	5,772	15,516	△1,044	14,471
セグメント利益	2,634	1,005	3,640	△1,149	2,491

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,149百万円には、セグメント間取引消去△106百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,043百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設機械事業	圧入工事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,188	4,104	13,293	—	13,293
セグメント間の内部 売上高または振替高	445	100	546	△546	—
計	9,634	4,205	13,839	△546	13,293
セグメント利益	2,489	675	3,164	△994	2,169

(注) 1. セグメント利益の調整額△994百万円には、セグメント間取引消去34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,029百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。